

形E3JM/E3JK

調整について

項目 形式	透過形	回帰反射形	拡散反射形
形E3JM	タイマ機能付きの場合、動作モード切替えスイッチにより表示灯の点灯モードがL・ONにて入光時点灯、D・ONにてしゃ光時点灯になります。	タイマ機能付きの場合の表示灯点灯モードは透過形と同じです。	タイマ機能付きの場合の表示灯点灯モードは透過形と同じです。
形E3JM、 形E3JK 共通事項	受光器および投光器を上下、左右に振り、受光器の表示灯が点灯する範囲の中央に設定してください。	透過形と同様に、反射板と投・受光器を調整してください。投・受光器の指向角は1～5°ですので投・受光器の調整は特に慎重に行ってください。	(検出物体有るとき) (検出物体無いとき) (設定) 動作(A) (感度) MIN MAX (A) (感度) MIN MAX (B)動作 (C)復帰 (A) (感度) MIN MAX (C) (1)図のように検出物体が有るとき、感度ポリウムを右に回し(感度を上げる)表示灯が点灯するポリウム位置を(A)とします。 (2)検出物体を取り除き、感度ポリウムを右に回し、背景物体で表示灯が点灯する位置を(B)とします。 (3)(B)から感度ポリウムを左に回し、(感度を下げる)表示灯が消灯する位置を(C)とします。 (4)(A)と(C)の中間位置が最適位置です。最大感度るとき、背景物体で表示灯が点灯しない場合は、(A)と最大感度の中間に設定します。 ・感度調整ポリウムを過大な力で回しますと破損することがあります。